

6

第一步を 踏み出すときに

予想される壁とその対策

家庭で長い間子育てに専念していた女性が再就職すると、最初はとまどったり、なじめなかったりすることも多いでしょう。新しい世界に入るのですから、それはむしろあたりまえです。多くの人がぶつかる最初の壁を乗り越えれば、あとは少しずつ仕事や職場になじんでいくでしょう。

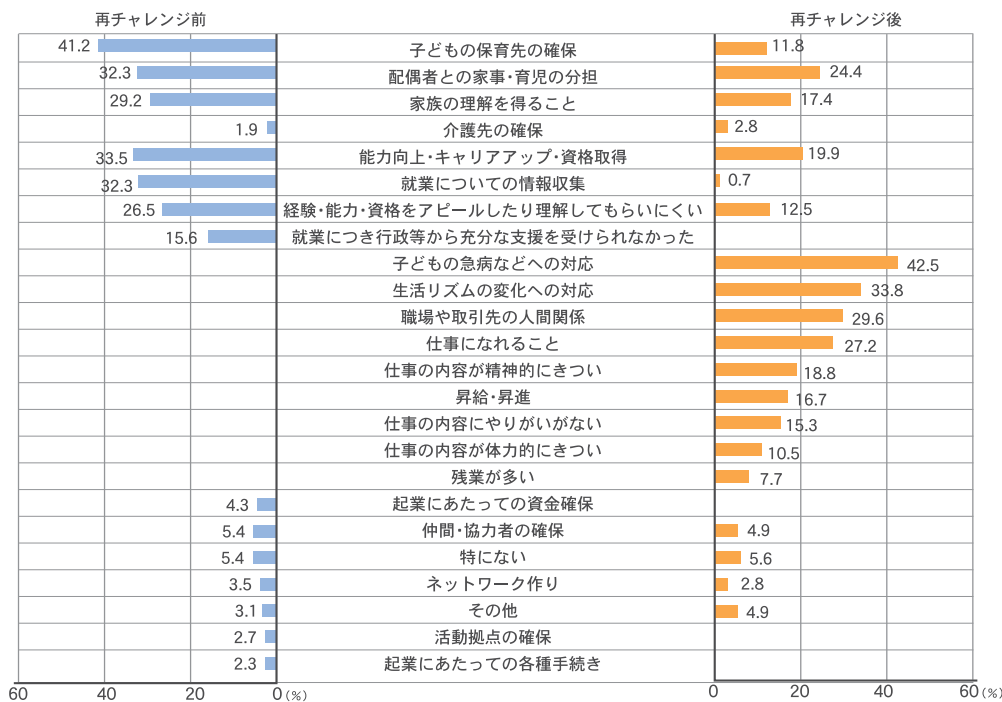
組織の一員としての自覚と行動

まず、意識を家庭モードから職場モードに切り替える必要があります。職場では、誰もが限られた時間内でより大きな成果を出すために行動しています。お互いに時間を有効に使えるよう配慮し、ルールや約束は確実に守らなければなりません。個人の事情や思いだけで行動したり、感情的に振る舞ったりしては、仕事やチームワークに支障が生じてしまいます。

特に重要なのは、組織の一員としてのコミュニケーション能力です。家族や友人との会話では、自分の思いをゆっくり話すことができます。しかし、仕事上の会話では、個人的な考えや感想ではなく、組織の一員として伝えるべき内容を手短かに短時間で確実に伝え、相手の話を正確に理解して的確に応答する能力が求められます。

最初は難しいかもしれませんが、意識して続けていけば、組織の一員としてのコミュニケーション能力がだんだん身についていきます。(図12)

図12 再チャレンジの前後で苦労したこと



【備考】 内閣府「再チャレンジ事例分析調査」（平成21年3月）より作成。

精神的に強くなる

組織の一員として働く以上、自分の思いどおりにならないことや嫌なこともあります。職場内や取引先に相性が悪い人がいるかもしれません。このようなことは多くの職場で大なり小なりあることで、たいていの人を経験することです。自分の感情をうまくコントロールしたり、いろいろなタイプの人と上手に接することも、組織の中で働くために必要な能力です。カラオケ、おいしいものを食べるなど、自分なりのストレス解消法を持っているといいでしょう。



働き始めたときには、いろいろと困ったことや気苦労があるものです。あらかじめ心構えをしていれば、慣れるのも早いでしょう。

可能なら、本格的に就業する前に、パートやアルバイトで働いたり、地域のボランティアなどに参加してみるといいでしょう。組織の一員としての心構えは、なによりも実際に働く経験によってつちかわれるものです。

子どもが急病！ 仕事を休む？

企業にとって、子育て中の女性を雇用した場合に最も困るのは、家庭の事情で急に休まれることだといわれます。重要な会議に欠席したり、取引相手との約束をキャンセルしたりすれば、大切なビジネスチャンスを失うことになりかねません。

子育てをしながら働く女性にとって、いちばん困るのは子どもの急病でしょう。子どもの看護のための休暇等を取ることができる場合もあるでしょう。しかし、ときにはどうしても休めない日があるかもしれません。そんなときに困らないように、いざというときに子どもを預けられる施設などを探しておく、子どもの世話を頼める人をつくっておくなど、あらかじめ準備しておくといいでしょう。



どうしても職場になじめなければ

すべてが希望どおりだという職場はまずありません。ある程度の不満があっても、割り切って働き続けることも必要です。困ったことや嫌なことに前向きに対処していくうちに、だんだん耐える力がついていきます。

それでも、どうしても条件が合わない、職場になじめないという場合は、他の仕事を探すことを考えてもいいでしょう。安易に転職を考えるのは問題ですが、現在の職場に無理にしがみつくと必要はありません。

なお、明らかに不当な労働条件であったり、女性が不当に差別されていたり、セクハラ等の問題がある場合には、早めに適当な機関(p27)に相談するといいでしょう。

家族から応援してもらうために

子どもにも、できることは自分でしてもらおう

私が在宅ワークからパートと変化していくにつれて、男児2人が自分のことを自分でできるようにと仕込みました。子どもは親が思う以上にタフですし、なんでもできます。小学校のお泊り行事の準備も、高校の入学手続きも、まかせたらやってくれました。母親がやれない状態に慣れてもらうには、子どもが小さいうちに働きに出たほうがお互いにラクです。成績はさんざん(涙)、机の上はグチグチャでも、「ココ」というところをはずさなければだじょうぶ！ 子どもも「おなかやすいたらごはんを作れた方がいい」と言ってくれ、下ごしらえした後、ブログで作り方を指南して親子で交流しながら作っていました。

いまでは子どもたちも大きくなって、私も正社員で編集の仕事をしています。気づいたら子どもも私も大きくなりました!? 人を束ねていかなければならない仕事は常に気が抜けませんが。(ハット)

ブログ「今日のごはん、なァーに？」 http://blog.so-net.ne.jp/nori_hat/



パートナーよりも、まずは自分が変わる・・・

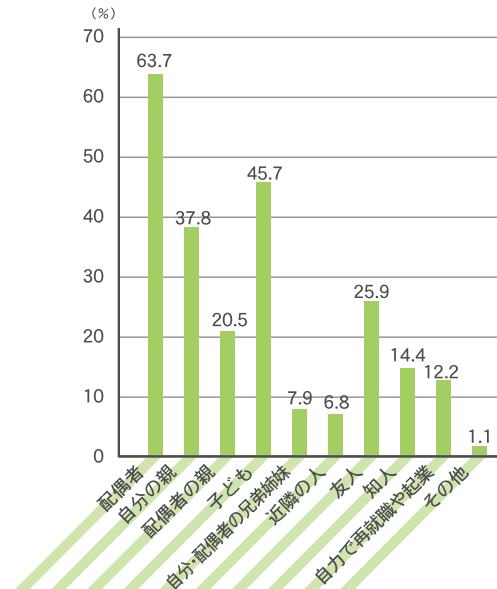
現在、NPOで主に家事援助のヘルパーをしながら、通訳を目指して勉強中です。夫には協力は期待せず、いかに邪魔をされずに仕事や勉強をするかが長年の課題でした。

この3年で試みたことで成果が出ていることがふたつ。まず1つ目は、愛情を注ぐこと。ハンカチを新調する、好きな物を夕食に出す、気の済むまで話を聞いてあげるなど、小さなことでも毎日1つ決めて実行しました。2つ目は料理。食物によって人は性格が変わることを知り、お肉は週1回にし、魚や大豆製品、根菜類中心に、頑固さがとれ、穏やかな精神状態を作る食事作りをしています。おかげで子どもも素材や食品添加物に敏感になりました。

私が退職前に一流ホテルのオープンという大仕事に夢中だったので、夫に意識が向いていないという反発もあったのかと思います。自分がまず変わる、行動を変えてみるのが大切だと実感しています。(ミミ子)



図13 再チャレンジで役に立った協力者



〔備考〕 内閣府「再チャレンジ事例分析調査」(平成21年3月)より作成。

家事や子育ての目標値を下げる

専業主婦のとき、「そうじは毎日するもの」と思っていました。が、働く先輩に聞くと「そうじなんかなくても死なない」というので、とりあえず3日間しないしてみました。なんともありません！ ただ先輩の子どもはアトピーでダニ反応が出たそうですから、適度には必要ですね。

そのうち私も仕事が忙しくなり、子どもの宿題や提出物をチェックしきれず……。すると夫が見たり、子どもが自分で管理するようになりました。「この書類はあしたまでだからね」と持ってくるのです。さびしい思いをさせているかと聞くと、「全然！○○ちゃんのママなんかいちいちどこでなにしているか見張っていて苦しいから、うちのことうらやましいって」と言われ、目が点に。過干渉にならないのも案外いいのかもしれません。(さなえ)



詐欺や誇大広告に注意！

あまりにも「うまい話」や、高額のお金を要求されるケースには十分注意しましょう。
契約条件は十分に確認し、その内容を契約書等の書面でもらいましょう。

誰にでもできる簡単な仕事で高収入が得られる仕事は、普通はありません。

内職するために必要だと登録料、講習料、教材費、機材費等の支払いを要求し、理由をつけて報酬を支払わないケース

就職に有利な資格が得られると勧誘し、テキスト代、受講費等の名目で金品を騙し取るケース

企業などが実態とかけ離れた情報を示して求人するケース

例)

募集広告では「残業なし」→実態は「残業代なし」

募集広告では「月給20～30万」→一番多くもらっている社員の例で、実態はもっと少ない

募集広告の内容と著しく異なった役職を担当させられる

在宅ワークのトラブルに注意！

在宅ワークで仕事の契約をするときは、後のトラブルを防ぐために策定された「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」を参考にしましょう。

「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」には
次の点について盛り込んでいます。

契約条件の
文書明示、保存

契約条件の
適正化
報酬の支払、納期、
継続的な注文の打ち
切りの場合における
事前予告など

その他
個人情報の保護、
健康確保措置、
能力開発機会の付与、
担当者の明確化

詳しくは「在宅ワークの適正な実施のためのガイドライン」参照

厚生労働省ホームページ <http://www2.mhlw.go.jp/topics/seido/josei/zaitaku/index.htm> に全文掲載